

LHD-2BRHU3_SG2 V01

RAID 機能搭載

2Bay 3.5 インチ外付ハードディスク

LHD-2BRHU3 シリーズ

セットアップガイド②設定編

このたびは、ロジテックの RAID 機能搭載 2Bay 3.5 インチハードディスクをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本セットアップガイドでは製品の設置・設定についてご説明したおります。別紙「セットアップガイド①はじめにお読みください」「Logitech RAID Manager クイックガイド」と共に、本紙の内容を十分にご理解いただいた上で本製品をお使いください。また、本紙はいつでも読むことができる場所に大切に保管しておいてください。

設定の流れ

はじめて本製品を設定する場合は、次の手順で行ってください。

STEP 1

RAID モードを設定します。

▶

STEP 2

パソコン、TV と接続します。

▶

STEP 3

ハードディスクをフォーマットします。

Step1 RAID モードを設定します

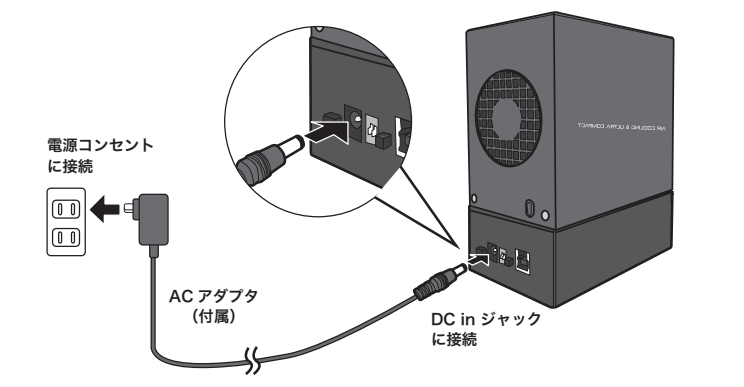
本製品は初期設定で RAID 1 に設定されています。そのままの設定で運用する場合は「Step 2 パソコン、TV と接続します」へおすすみください。

本製品を初期設定と異なる設定で運用する場合、パソコンやテレビなどの対応機器に接続する前に本製品の RAID モードを再設定してください。以下の点にご注意ください。

・付属のアプリ「Logitech RAID Manager」を使用してパソコンから設定する場合は別紙「Logitech RAID Manager クイックガイド」をご参照ください。

- 本製品内のデータは新たに RAID 構築する際、または構成を変更するときに全て消去されます。ハードディスクのデータはお客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- 本製品背面のディップスイッチを使用してモード設定、構築をする場合は、パソコンは不要です。

- ①本製品の DC in ジャックに付属の AC アダプタの DC プラグを接続し、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
※まだ、電源は入れないでください。



- ②本製品の電源がオフの状態で、背面のディップスイッチで動作モードを設定します。

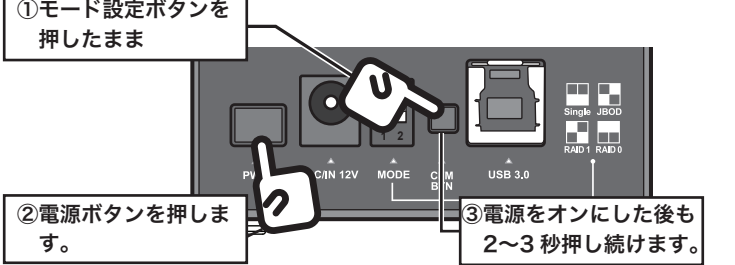
モード	RAID 0		RAID 1		JBOD	シングル
DIP	1	2	1	2	1	2
オン (上)	●	●	●	□	□	●
オフ (下)	□	□	□	●	●	□

本製品で構成可能な RAID モードの特徴は以下の通りです。

RAID 構成	認識されるボリューム数	必要 HDD 台数	特徴
Single (シングルモード)	1 or 2	1 or 2	本製品にセットしたハードディスクがパソコンからそれぞれ独立したボリュームとして認識されます。
JBOD (スパニング)	1	2	2 台で 1 つのボリュームを構成し、一台目が満容量になったら 2 台目にデータを書き込みます。
RAID 0 (ストライピング)	1	2	データを分割し、同時に 2 台へ書き込むことで書き込み速度が向上します。
RAID 1 (ミラーリング)	1	2	常にディスクを複製 (ミラーリング) し片方のハードディスクに障害が発生してもデータを失うことなくご利用いただけます。

○ RAID 0 および 1 で運用する場合は 2 台のハードディスクが同じ容量である必要があります。弊社では同一メーカー、同一型番のハードディスクの使用を推奨します。

- ③モード設定ボタン (CFM ボタン) を押したまま電源ボタンを押します。その後 2~3 秒間はモード設定ボタン (CFM ボタン) を押し続けて下さい。



- ④前面の Power LED と HDD 状態表示 LED が青色に点灯し、しばらくすると HDD 状態表示 LED が紫色に点滅しボリュームを構築します。ボリュームの構築が終わると HDD 状態表示 LED が青色に点灯します。

AIR COOLING & ULTRA COMPACT

2BAY RAID series

HDD1PWRHDD2

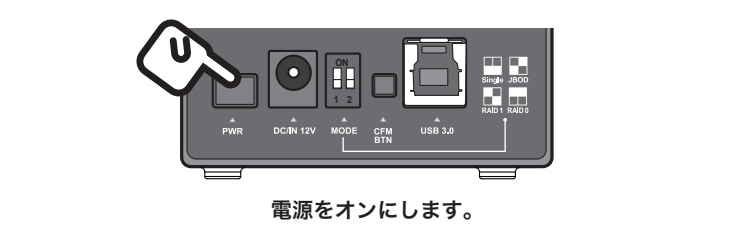
前面 LED

LED の表示状態		
PowerLED		青点灯
HDD1		青点灯→紫点滅→青点灯
HDD2		青点灯→紫点滅→青点灯

- ⑤以上でモードの設定は完了です。

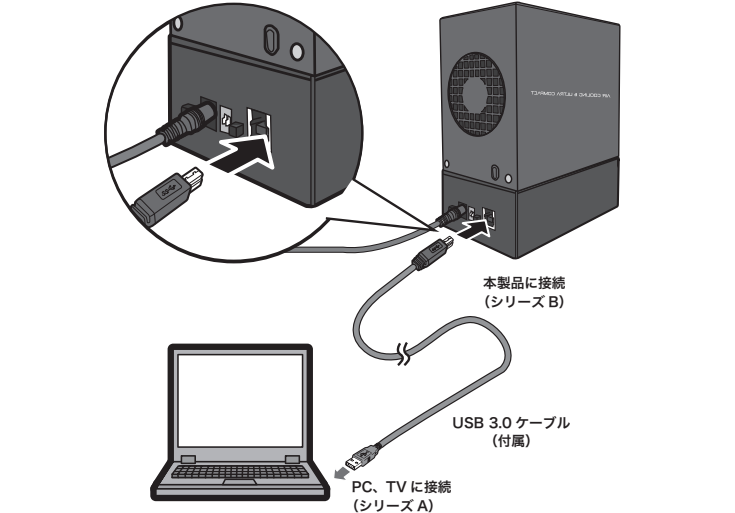
Step2 パソコン、TV と接続します

- ①付属の AC アダプタで本製品と電源コンセントを接続し、電源ボタンを押して電源をオンにしてください。



電源をオンにします。

- ②付属の USB 3.0 ケーブルのシリーズ B コネクタを本製品の USB 3.0 Type B ポートに接続し、もう片方のコネクタ (シリーズ A コネクタ) をパソコンやテレビなどの USB Type A ポートに接続します。



- ③本製品は出荷時のフォーマットが NTFS のため、Windows 環境の場合は、そのまま認識します。Mac OS 環境や TV などでご使用する場合は、ハードディスクのフォーマットが必要です。また、Windows で NTFS 以外のフォーマット形式を使用する場合も再フォーマットが必要になります。次の「Step3 ハードディスクをフォーマットします」を参照し、本製品をフォーマットしてください。

Step3 ハードディスクをフォーマットします

Mac OS 環境や TV などでご使用する場合や、再フォーマットを行う場合は、以下の手順でハードディスクを初期化 (フォーマット) してください。

- フォーマットとは、接続先の機器で本製品へアクセスする事が出来るようにハードディスクを認識させる作業です。フォーマットを行うと、保存されているデータは消去されますので、作業を行う場合は十分ご注意ください
- フォーマット形式や手順は接続先の機器により異なります。詳細は接続する機器の取扱説明書などをご参照ください。

Windows 環境でのフォーマット手順

- ①本製品をパソコンに接続し、以下の手順で「ディスクの管理」画面を開いてください。

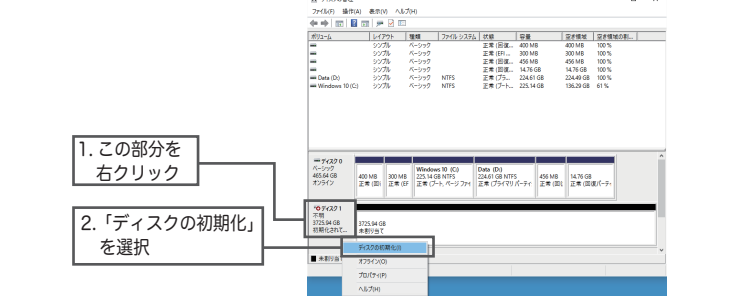
Windows 10、8.1 の場合

キーボードの「Windows」キーと「X」キーを同時に押して表示されるメニューから「ディスクの管理」を選択してください。

Windows 7 の場合

「スタート」―「コンピュータ」を右クリックして「管理」を選択し、「ディスクの管理」を選択してください。

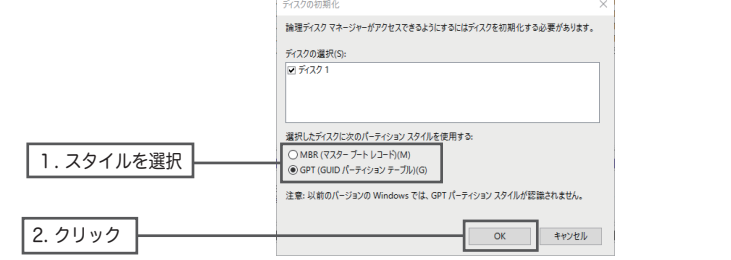
- ②初期化されていないハードディスクがあることを確認し、ディスクを右クリックして「ディスクの初期化」を選択してください。



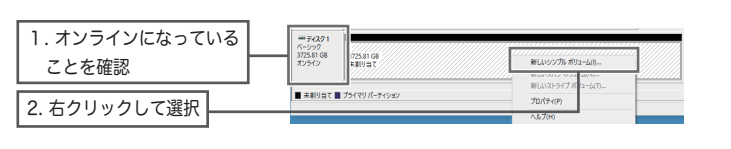
※シングルモードの場合は、接続した台数のボリュームが認識されます。
※ディスクの初期化画面が表示される場合は手順3へおすすみください。

- ③「ディスクの初期化」ウィンドウが表示されますのでパーティションスタイルを選択し、「OK」をクリックしてください。

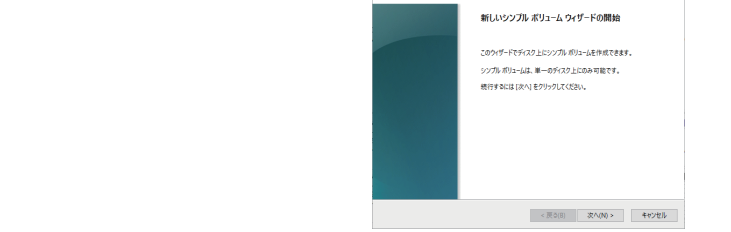
MBR (マスターブートレコード)：2TB 以下のディスクを使用する場合
GPT (GUID パーティションテーブル)：2TB 以上のディスクを使用する場合



- ④初期化が完了するとディスクがオンラインとなりますので、「未割り当て」の部分を右クリックして「新しいシンプルボリューム」を選択してください。



- ⑤「新しいシンプルボリュームウィザード」が起動しますので、画面の指示に従い、ドライブレターやフォーマットタイプを選択してハードディスクのフォーマットを行ってください。



○本製品を Windows のみでご使用の場合は NTFS で、Windows と Mac 両方でご使用の場合は exFAT でフォーマットすることをお勧めします。

○フォーマット時の各種設定については Windows のヘルプをご参照ください。

○フォーマットには「Logitec ディスクフォーマッタ」(Windows 専用) をご利用いただくことも可能です。

Logitec ディスクフォーマッタ (Windows 専用)

(<http://dl.logitec.co.jp/software.php?pn=LST-D-107>)

ディスクフォーマッタ

ハードディスクのフォーマットや、フォーマット情報の削除、パーティションの作成など、フォーマットに関する設定を簡単な操作で実行できるツールです。

Mac OS 環境でのフォーマット手順

- ①本製品を接続すると「セットしたディスクは、このコンピュータで読み取れないディスクでした」と表示されます。「初期化」をクリックしてください。

- ②ディスクユーティリティが起動します。外部ディスクから本製品を選択し、「消去」をクリックしてください。

※本製品は設定した構成によりディスクユーティリティ上からは次のように認識されます。
○RAID 1 - H/W RAID1 Media ○RAID 0 - H/W RAID0 Media
○JBOD - H/W JBOD Media
※シングルモードの場合は、接続した台数のボリュームがハードディスク名と共に認識されます。

裏面に続きます

③ディスク消去の確認画面が表示されます。名前を入力し、フォーマットと方式を選択して「消去」を選択します。



- 「名前」は本製品が Mac にマウントされる際の表示名になります。
- フォーマットは、本製品を Mac のみでご使用になる場合は「Mac OS 拡張（ジャーナリング）」を、Windows と共用する場合は「exFAT」を選択してください。
- 方式には「GUID パーティションマップ」を選択してください。

④フォーマットが実行され、完了するとデスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。



⑤以上でハードディスクのフォーマットは完了です。

薄型テレビの場合

- 接続するテレビが USB-HDD への録画に対応している必要があります。
- 接続したテレビで初期化作業（フォーマット、登録）が必要です。また、録画データは他のテレビやパソコンで再生することはできません。

ハードディスクを取り付けた本製品を、薄型テレビの USB ポートと付属の USB 3.0 ケーブルで接続します。
詳細なハードディスクの使用方法是ご使用されている各薄型テレビの説明書をお読みください。

本製品の取り扱いについて

ここでは、ハードディスクの交換やパソコンからの取り外しなど、設定後の取り扱いについてご説明します。

ハードディスクの交換方法

本製品にセットしたハードディスクを交換する際は次の点にご注意ください。

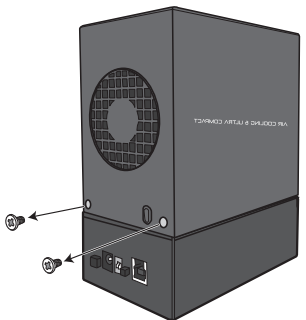
- ハードディスクは動作時、表面温度が約 60 度まで上昇しています。ハードディスクの交換は、本製品の電源を切り、十分温度が下がっていることを確認してから行ってください。
- RAID 0、JBOD で使用時に片方のハードディスクを交換すると構成情報が変わるためもう片方のデータも消失します。
- 本製品はホットスワップには対応しておりません。RAID 1 で運用し、ディスクに異常が発生した場合も、ハードディスクの交換の際は必ず本製品の電源を切るようお願いいたします。

本製品のハードディスクの交換は、以下の注意事項をご確認いただき、製品を安全な場所に設置した上で行ってください。

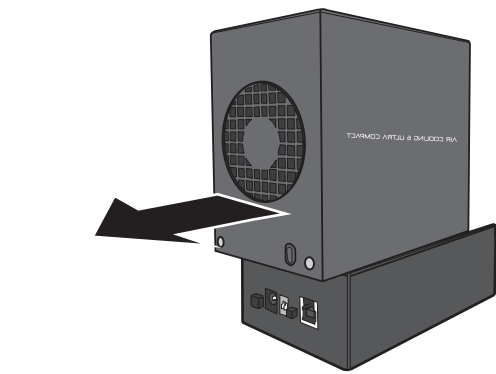
！ 設置時の注意

- ・設置の前には必ず、別紙の「セットアップガイド①はじめにお読みください」の内容をご確認ください。
- ・製品落下や振動の恐れがない、安定した場所に設置してください。
- ・背面の冷却ファンは塞がないようご注意ください。
- ・高温・多湿な場所への設置はおやめください。

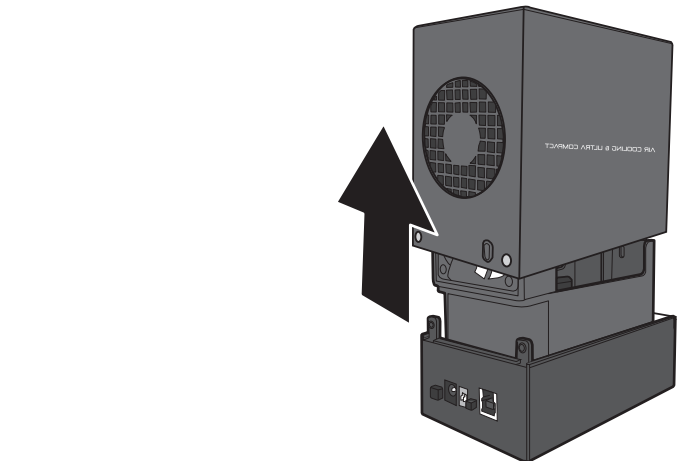
①市販のプラスドライバーを使用して背面の上部カバー固定ネジ（2箇所）を取り外してください。



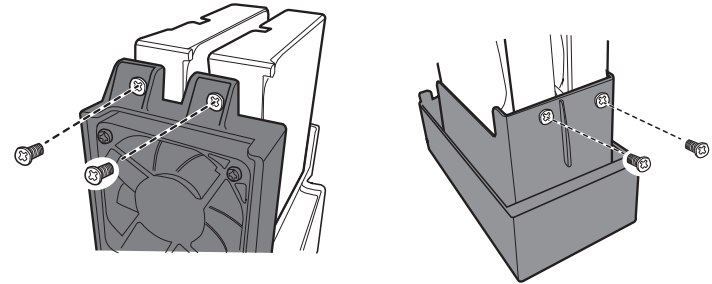
②カバーを軽く押して本製品背面側に数センチずらします。



③カバーを持ち上げて完全に取り外します。

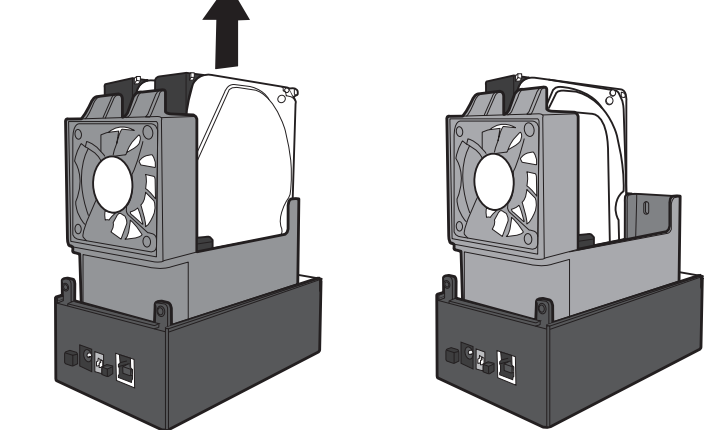


④ドライブベイ前後 2 箇所にあるハードディスクを固定しているネジを取り外します。



※上の図では両方のドライブに対してネジを取り外していますが、片方のドライブのみ交換する時は、交換するディスクを固定しているネジのみ取り外します。

⑤ハードディスクベイからハードディスクを取り外します。まっすぐ垂直に引き抜いてください。



⑥取り外した時と逆の手順で新しいハードディスクを取り付けます。

！

本製品の SATA コネクタは上から見てベイの以下の場所にあります。正しい方向でハードディスクのコネクタと接続してください。

異なった方向ではセットできません。無理な力を加えると本製品・ハードディスク共に破損しますので十分ご注意の上、接続して下さい。

オートリビルドについて（RAID 1 のみ）

本製品を RAID 1 で使用している時に片方のハードディスクが故障した場合、故障したハードディスクを新しいものと交換することで RAID 構成が自動的に再構築（オートリビルド）されます。
HDD の取り外し方法は「ハードディスクの交換方法」をご参照ください。
故障したハードディスクは HDD 状態表示 LED にて確認する事が出来ます。

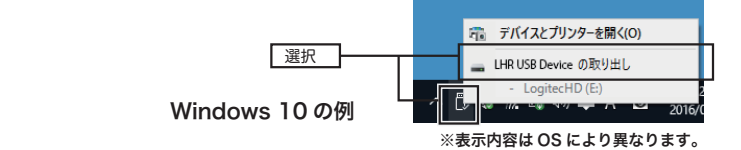
- 再構築中は状態表示 LED が赤色に点滅します。
- 再構築時間はハードディスクの容量などにより異なりますが、1TB あたり 10～15 時間となります。
- リビルド中は本製品の電源をオフにしたり、AC アダプタを引き抜かないようにしてください。故障の原因となります。
- RAID 構成のリビルド中は PC 電源連動機能は動作しません。

本製品の取り外しについて

- 本製品をパソコンから取り外す前には、アプリケーション(エクスプローラーなど)を終了しておいてください。
- パソコンがスリープモードのときは、本製品をパソコンから取り外さないでください。パソコンがスリープモードから復帰した時に障害の原因になります。

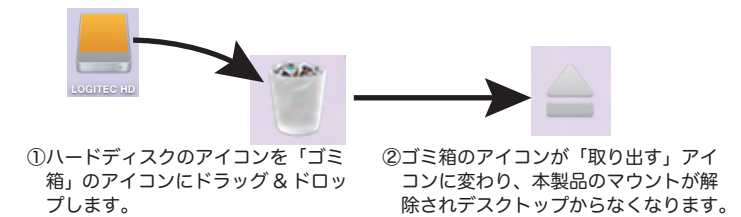
■Windows 環境の場合

本製品の取り外しの際は、本製品へのアクセスが行われていない事を確認し、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして本製品の取り外しを選択し、安全に取り外す事ができるメッセージが表示されたら「OK」をクリックして、パソコンから取り外してください。



■Mac OS 環境の場合

デスクトップで本製品のアイコンを選択し、デスクトップ下の DOCK にある「取り出す」アイコンヘドラッグ＆ドロップして重ねます。
本製品のアイコンがデスクトップからなくなった事を確認し、Mac から取り外してください。



ロジテック HDD サポートツールについて

弊社ホームページでは、ハードディスクユニットを快適に使用するために、以下のソフトウェアをダウンロードにて提供しております。ぜひご活用ください。
ここでご紹介するソフトウェアは Windows 環境のみでご利用いただけます。

■ 簡単フォーマットツール

Logitec ディスクフォーマッタ

ダウンロードアドレス：
<http://dl.logitec.co.jp/download.php?pn=LST-D-107>

ハードディスクのフォーマットや、フォーマット情報の削除、パーティションの作成など、フォーマットに関する設定を簡単な操作で実行できるツールです。

■ HDD データ簡単消去ツール

Logitec ディスクデータイレイサ

ダウンロードアドレス：
<http://dl.logitec.co.jp/software.php?pn=LST-D-905>

HD ドライブに書き込まれたデータは、OS 上でのファイルの削除、さらにはフォーマットを行った後でさえ、復旧できる可能性があります。「Logitec ディスクデータイレイサ」は、増設 HD ドライブの全セクタに、ランダムデータを上書きして元のデータの消去をおこないます。元データに異なる内容のデータが上書きされますので、パソコンで元データの読み出しをおこなうことはできない状態になります。増設 HD ドライブの破棄や譲渡を行う場合、データの漏洩防止対策に役立ちます。

■ 簡単バックアップツール

Logitec フォルダミラーリングツール

ダウンロードアドレス：
<http://dl.logitec.co.jp/download.php?pn=LST-D-901>

フォルダ単位でのミラーリング環境を提供する、簡単バックアップツールです。
指定されたフォルダを監視して、変更されたファイルをバックアップ先のフォルダに自動的にコピーします。バックアップしたいフォルダとバックアップ先を指定しておくだけで、指定した二つのフォルダの内容を常に同一に保ちます。ファイルの変更を検出した時点でコピーをおこない、コピーは全て自動でおこなわれるため、バックアップ作業を特に意識する必要はありません。頻繁に変更のかかるデータのバックアップに、とくにおすすめです。